

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科		臨床検査技師科		科 目 区 分		専門基礎分野	授業の方法	講義実習	
科 目 名		生理学		必修/選択の別		必修	授業時数(単位数)	30	(2) 時間(単位)
対 象 学 年		1年生		学期及び曜時間		前期 金曜1・2限	教室名	1校舎401・501	
担 当 教 員		松良尚子		実務経験とその関連資格		医療法人同仁会松崎病院に臨床検査技師として勤務。生理機能検査を担当			
《授業科目における学習内容》									
人体の生命活動である循環、呼吸、消化、排泄等とそれらの恒常性のメカニズムについて学ぶ									
《成績評価の方法と基準》									
中間試験、学期末試験、授業課題、授業内小テスト等による総合点で評価									
《使用教材(教科書)及び参考図書》									
教科書(医歯薬出版株式会社 新編臨床検査学講座 生理学)									
《授業外における学習方法》									
・教科書を事前に読んで予習しておくこと。・授業終了時に示した課題によって復習しておくこと。・教科書や授業ノートを元に各単元毎にまとめを作り、学習内容を整理しておくこと。									
《履修に当たっての留意点》									
この科目は、今後学ぶ専門科目の土台となる学問である。									
授業の方法		内 容				使用教材		授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	体液、血液の種類について説明できるようになる			教科書、配布資料	事前に該当箇所の教科書を読み、不明な語句や説明文をチェックしておきましょう		
		各コマにおける授業予定	体液、血液、物質移動						
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	細胞膜の構造や特徴について説明できるようになる			教科書、配布資料	事前に該当箇所の教科書を読み、不明な語句や説明文をチェックしておきましょう		
		各コマにおける授業予定	細胞膜と物質移動						
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	活動電位の発生機序について説明できるようになる			教科書、配布資料	事前に該当箇所の教科書を読み、不明な語句や説明文をチェックしておきましょう		
		各コマにおける授業予定	活動電位の発生と特徴						
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	シナプス電位の発生について説明できるようになる			教科書、配布資料	事前に該当箇所の教科書を読み、不明な語句や説明文をチェックしておきましょう		
		各コマにおける授業予定	シナプス電位の発生とその特徴						
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	神経の種類とその特徴について説明できるようになる			教科書、配布資料	事前に該当箇所の教科書を読み、不明な語句や説明文をチェックしておきましょう		
		各コマにおける授業予定	神経の種類(体性、自律)						

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	心臓の構造と調節機能について説明できるようになる	教科書、配布資料	事前に該当箇所の教科書を読み、不明な語句や説明文をチェックしておきましょう
		各コマにおける授業予定	循環(心臓)、調節機序		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	血管の種類とその特徴について説明ができるようになる	教科書、配布資料	事前に該当箇所の教科書を読み、不明な語句や説明文をチェックしておきましょう
		各コマにおける授業予定	循環(血管)		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	循環調節について概要が説明できるようになる	教科書、配布資料	事前に該当箇所の教科書を読み、不明な語句や説明文をチェックしておきましょう
		各コマにおける授業予定	循環まとめ		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	呼吸の仕組みについて説明できるようになる	教科書、配布資料	事前に該当箇所の教科書を読み、不明な語句や説明文をチェックしておきましょう
		各コマにおける授業予定	呼吸器の構造、呼吸の仕組み		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	呼吸調節の概要について説明ができるようになる	教科書、配布資料	事前に該当箇所の教科書を読み、不明な語句や説明文をチェックしておきましょう
		各コマにおける授業予定	呼吸の調節機能		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	呼吸調節について例を挙げることができる	教科書、配布資料	事前に該当箇所の教科書を読み、不明な語句や説明文をチェックしておきましょう
		各コマにおける授業予定	呼吸まとめ		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	消化の種類について例を挙げることができる	教科書、配布資料	事前に該当箇所の教科書を読み、不明な語句や説明文をチェックしておきましょう
		各コマにおける授業予定	消化(口腔～胃)		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	各部位での消化液について列記できるようになる	教科書、配布資料	事前に該当箇所の教科書を読み、不明な語句や説明文をチェックしておきましょう
		各コマにおける授業予定	消化(十二指腸、胆嚢、膵臓、小腸)		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	栄養素の吸収について説明できるようになる	教科書、配布資料	事前に該当箇所の教科書を読み、不明な語句や説明文をチェックしておきましょう
		各コマにおける授業予定	消化(各栄養素の吸収)		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	尿の生成について説明出来るようになる	教科書、配布資料	事前に該当箇所の教科書を読み、不明な語句や説明文をチェックしておきましょう
		各コマにおける授業予定	尿(腎臓の構造、尿の生成)		

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	臨床検査技師科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義実習
科 目 名	生理学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時限	前期 金曜1・2限	教室名	1校舎401・501
担 当 教 員	松良尚子	実務経験とその関連資格	医療法人同仁会松崎病院に臨床検査技師として勤務。生理機能検査を担当			
《授業科目における学習内容》						
人体の生命活動である循環、呼吸、消化、排泄等とそれらの恒常性のメカニズムについて学ぶ						
《成績評価の方法と基準》						
中間試験、学期末試験、授業課題、授業内小テスト等による総合点で評価						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
教科書(医歯薬出版株式会社 新編臨床検査学講座 生理学)						
《授業外における学習方法》						
・教科書を事前に読んで予習しておくこと。・授業終了時に示した課題によって復習しておくこと。・教科書や授業ノートを元に各単元毎にまとめを作り、学習内容を整理しておくこと。						
《履修に当たっての留意点》						
この科目は、今後学ぶ専門科目の土台となる学問である。						
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第16回	講義形式	授業を通じての到達目標	糸球体ろ過量、腎血流量の求め方について例問がとけるようになる		教科書、配布資料	事前に該当箇所の教科書を読み、不明な語句や説明文をチェックしておきましょう
		各コマにおける授業予定	排泄(糸球体ろ過量、腎血流量)			
第17回	講義形式	授業を通じての到達目標	ホルモンの概要について説明できるようになる		教科書、配布資料	事前に該当箇所の教科書を読み、不明な語句や説明文をチェックしておきましょう
		各コマにおける授業予定	ホルモン基礎(ホルモンとは、ホルモンの種類)			
第18回	講義形式	授業を通じての到達目標	ホルモンの分泌部位と物質名が列記できるようになる		教科書、配布資料	事前に該当箇所の教科書を読み、不明な語句や説明文をチェックしておきましょう
		各コマにおける授業予定	ホルモン(視床下部～甲状腺)			
第19回	実習形式	授業を通じての到達目標	ホルモンの分泌部位と物質名が列記できるようになる		教科書、配布資料	事前に該当箇所の教科書を読み、不明な語句や説明文をチェックしておきましょう
		各コマにおける授業予定	ホルモン(膵臓～生殖器)			
第20回	講義形式	授業を通じての到達目標	生理学の基礎的問題について解答・解説ができるようになる		教科書、配布資料	事前に該当箇所の教科書を読み、不明な語句や説明文をチェックしておきましょう
		各コマにおける授業予定	総復習			